

英語ディベート講習会・内容例

以下は英語ディベートが初めての教員の方向けの施計画です

実施形態： 対面または Zoom でのオンライン
担当： 小林良裕（豊島岡女子学園中学高等学校）

■【講習のゴール】

- ① 英語ディベートおよびその指導の、大まかな知識を得る。
- ② [授業において] 具体的な教材例を用いて、指導内容・方法を知る。
- ③ [部活において] 授業での指導との違いを踏まえ、練習法・大会等の知識を共有。

■【使用教材】（それぞれ参加人数分、こちらで用意して郵送します）

- ・ 冊子「授業で教える英語ディベート」小林良裕[著]
（その他、上記冊子の pdf ファイルを含め、ダウンロード可能な教材）

■【指導の内容】（合計4時間、50分×4コマの授業時間でイメージ）

1 時間目【導入・ディベートについての基礎知識】

- 1) 簡単なスピーキング活動例
- describing a picture / word guessing game / time-bomb game
- 2) 英語ディベート自体についての知識（即興型と準備型）
- 3) 事例紹介：講師の勤務校での指導内容

2 時間目【最低限これだけ指導すれば生徒は試合ができる指導内容】

- 0) Summary & Refute
- 1) 立論スピーチに関して（Policy Debate での問題解決型スピーチ）
- 2) 質問の仕方（Opinion / Fact の区別から）
- 3) 反論の仕方（定型表現での指導）

3 時間目 【練習試合】

- 1) 練習試合（参加者の方にその場で試合をしていただきます）
- 2) 審判役・聞き手への指導：「ディベート指導の本質は、意見を言いつばなしにさせることではなく、相手の話をよく聞いて、受け答えし、考えを発展させるスキルを学ばせること」
- 3) その他、指導上の疑問に関してディスカッション

4 時間目 【授業への応用・部活での取り組み】

- 1) 自由英作文指導
- 2) 帯活動として
- 3) 教科書の定着活動として
- 4) 大会の開き方(部活動として)

以上が、初心者の教員の方向けのワークショップの内容になります。また、ご要望に応じて内容を変更することも可能です。